



学校通信

子安だより

発行日：令和8年 8月31日

発行：横浜市立子安小学校

〒221-0013 横浜市神奈川区新子安1-36-1

TEL 045-421-0993



自分が好き 友だちが好き 学校が好き まちが好き

育つ力を信じて

校長 山本 加奈代

40日間の夏休みを終え、子どもたちが学校に戻ってきました。静かだった校舎が一気に明るくなり、友達や先生との再会を喜ぶ声が響いています。この何気ない光景に、無事に夏を越えられたことへの感謝を改めて感じました。

一方で7月末の熊本地震、8月中旬の千葉豪雨では、多くの方が被害に遭われました。心よりお見舞い申し上げます。想定を超える災害が続く今、1104名の子どもたちの命を守るために、学校として「想定外の状況にも対応できる体制」をつくることが急務だと感じています。

そのためには、学校が一方的に守るだけでなく、子ども自身に「自分で考え、判断し、行動できる力」を育てることが欠かせません。絵本作家・かこさとしさんは、自叙伝「未来のだるまちゃんへ」の中で、次のように述べています。

「子どもは大人には及ばないかも知れないけれど、ひとりひとり、自分で考える力をちゃんと持っているし、ひょっとしたら大人以上にいろんなことを感じているものです。」

自分の目で見て、頭で考え、行動できる子どもは、災害時にも、日常の生活にも、すべての場面で力を発揮することができます。本校としても、子どもの主体性を育てる学びと、命を守る備えの両方を、これまで以上に丁寧に進めてまいります。

さて、長い夏休みの後には、学校再開に少し不安を抱えている子どももいます。気持ちがうまく切り替えられない子、友達関係に緊張している子、生活リズムが整うまで時間が必要な子。その姿は、どれも自然で、成長の一部です。

かこさんは、子どもが「遊びの中で命を充足させ、伸びていく存在」であることを繰り返し語っています。子どもは遊びや日常の体験を通して、自分なりのペースで世界を理解し、心を育てています。大人が急がせたり、形を決めたりするのではなく、子どもが自分で伸びていく過程を大人が信じて、温かく見守ることが大切です。

学校でも、子どもたちが安心して挑戦できる環境づくりを進めていきます。「自分で考えて動いてみる」「困ったら、そばの人に助けを求める」「友達と力を合わせる」そんな小さな一歩を積み重ねられるよう、職員一同で支えてまいります。

子どもたちが安心して学び、成長していくためには、学校・家庭・地域が同じ方向を向いていることが、何よりも大きな力になります。引き続き、温かなまなざしで、子どもたちを支えていただきますようお願い申し上げます。

今年の夏は、かこさんの生誕100年を記念した特別展を訪れました。絵本に描かれた子どもたちは、どの子も生き生きと、自分らしく世界を楽しんでいました。私たち大人の役割は、子どもを育てるだけでなく、子どもが本来もっている育つ力を信じることでもあります。一人ひとりの歩みを大切にしながら、その成長を見守ってまいります。